

第41回新日美展

反省・要改善事項アンケート集計

2017/12/15

新日本美術協会 事務局

役割分担

- 1 新人をもっと登用すべき。
- 2 適材適所、良。
- 3 各支部長の尽力もあり、遠くは栃木支部からも応援者が当番に来てくれた。上手くいった。
(延べ人数 290人)
- 4 委員担当延べ210人、支部応援60人、外部委託20人。計290人 委員平均7回
平均以下の方は事前に調整して、出来る限り回数を多くすべき。
- 5 全体として適当。しかし長年同じ役割業務を継げることなく、メンバーチェンジを試みる必要あり。何人変わったか。
- 6 ベテランと新人、本部と支部が連携して、広く本展に参加してもらうことが出来た。
- 7 準備は充分だった。篠さん担当フリーで連日大助かりでした。担当フリー要員を2名位置いたら良いと思う。
- 8 工芸部が当番表にきちんと記載されてなかったり、表になっている中にも入っていないのは変だと思ったり、当番だと思って会場に来た人が今日は人が多いからと帰った人にも大変申し訳なく思った。(東京支部の森石さん)
- 9 それぞれ機能した。
- 10 応援者への対応が良かった。(指導のマニュアル、交通料金の支払い、支部長と事業部長連携)
- 11 ポストカード係、友人が来ると30分位席を外す、それが何人も来るとその都度外すので席に居ない。自分の当番の日に友人を呼ぶのは良いのだが。
- 12 希望の部屋(8・9室一般作品)出品者へのアドバイス方法の確立。
- 13 「入賞者の連絡資料」の封筒入れ作業(名前貼りを含む)はテーブル近くに居た人が自主的に行っていたが、担当リーダーを決めておいた方が良い(パソコン担当との連携等)。
- 14 適材適所、受けた人は完遂を心掛ける。不都合が生じた時は直ちに連絡。
- 15 老老介護のため役割分担に十分な参加が出来なかったもので申し訳なく存じます。次回は対応出来るよう計画取り計らうつもりです。スケッチ担当の役割は今後とも努めさせて下さい。
- 16 人員配分など大変よかった。
- 17 会期全般にわたり、役割分担と割り振りは的良かった。
- 18 搬入、審査、展示、表彰、会場係を経験して良かったり、悪かったり。係が責任を持って役をこなすことが肝要だと思う。
- 19 受付、授賞式等、毎年同じでなく、色々な人が経験した方が良い。会員である以上必要な事で

は？（経験上誰でも出来る仕事）

搬入

- 1 出品票の書く所は完全に書かれているかチェックが必要。
- 2 良。
- 3 スムースな運営が行われたと思う。
- 4 搬送業務が厳しくなっているので再点検の要あり。東美への指示事項を明確に（作品番号の付け方 等）
- 5 今回も額縁のキズ発生した。担当業者、運搬業者、出品者に注意喚起の必要あり。
- 6 工芸部は皮肉なことに出品者、出品数が少なかったので何とかやりくり出来た。
- 7 スムースに作業が出来た。
- 8 工芸か？ 絵画か？作品としてどちらか迷うことが出てきて、本人が決めるのが良いのでは。
- 9 会計が行っている搬出入、審査の食事手配は今後止めにして欲しい（各自で用意が増加）
- 10 作品搬入者の受付・作品の預り等、混雑時には交通整理案内者が必要。
- 11 出品料は学生（大学生・高校生）及び20歳未満は無料。
- 12 煩雑な作業を搬入受付から区分け、麻痺滞りなく進め、的確なPC処理に拍手。
- 13 東美さんに面倒をみてもらい大いに助かった。
- 14 搬入締め切り時間を30分延長を望む。（午前中仕事、道路状況等により遅くなる事あり）
- 15 良かった。
- 16 搬入用紙記入の不備が多く、各々の支部を通じて徹底して欲しい（応募要項だけでは分からないので）新出品者にも分かり易く書いてほしい。

審査

- 1 工芸部との意志疎通を持つことは良かった。
- 2 技術に重点を置きすぎる。優等生的作品入賞、欲を言えばもっと奇抜、常軌を脱した面白い作品も入賞させて欲しい。
- 3 審査員が何人か入れ替わり良かったと思う。
- 4 多様化する作品に対する鑑定力に問題ないか。作品番号に題名を添記したことによる審査上の効果は？
- 5 代表の権限で表彰枠を設定する。1～3点（永年の出品者等対象）
賞にもれた作品で賞候補作品になった者に礼を作成する。
- 6 工芸部は審査員が足りない。上位賞を絵画と同じ土俵に上げることが出来た。
- 7 新しく頂ける賞が工芸にも出来てよかった。
- 8 上位賞選考のとき、工芸と絵画を同テーブルで行った。難しいが一步前進した。
- 9 審査の仕組みが良く分かって良かった。
- 10 審査時には東美の運搬者の手持ちではなく、作品を安定して置く台等の工夫。
- 11 委員全員審査員。審査員も授賞対象。スイッチ式に出来ないか。
- 12 普遍的美意識と革新的美意識の容認に基づく、普遍的一票が面白いです。
- 13 立派な審査に感謝しています。
- 14 絵画の審査員が毎年何名か変わっている。大変良い。

- 15 一般応募者と会員の別なく、審査したことは良かった。初めて審査のステップを見て、良い仕組みだと思った。
- 16 工芸部門の審査をしてくれる人を探すこと。
- 17 良い。
- 18 審査員の並ぶ列を変えたら良い。下段の人は全然上げない（作品に対する判断がはっきり分かれるのは不思議です）

展示

- 1 問題なしと思うが、会員は自信作一点の展示で良いのでは。
- 2 1～2室に委員の絵が集中している。各室に分散することで各室がより充実しないだろうか。8～9室一般の作品がちょっと淋しい。
- 3 展示会場には作品のみ展示する様に要項を変更したい。工芸展示室にポスター・別作品等あり)
- 4 高齢者会員は30号以上の作品を制作するのが困難になり、退会申出になるので、42回展からは会員の小品部門を設けたい。
- 5 2点作品の分離展示（大小作品の場合）・ 5室に抽象作品を集めたのは好評・ 8～9室の多点数室への増員
- 6 各室展示コンセプトを明確にすることについては好評。具象の室に抽象画があり注意必要。
- 7 2点出品作品は並べて展示の必要あり。
- 8 工芸、菅野氏の作品うまく折り合えるように工夫してほしい。
- 9 大変うまくいった。
- 10 小品部門の表示を明示した方がよい。キャプションの○審印は審査員と明確にした方がよい。質問が度々ある。
- 11 小品部門は数が多い為、時間がかかるのでマンパワーを増やす必要あり。キャプション、賞札の添付位置は最初に決めておく必要あり。
- 12 とても観やすかった
- 13 スッキリ感のある室、個性が集まった感のある室等良かった。展示作業時に手助けの人を機動的に回す。
- 14 受賞作品を中心とした部屋。2点出品者の作品は並べて展示（なるべく）
- 15 各室に委員の作品をはじめ力作を適宜展示したのは良かった。（理由）鑑賞者は次の部屋に行く楽しみを抱くことになったと思う。
- 16 担当者のセンスの良さに感謝します。
- 17 今回の展示は全体的に大変よかった。抽象の部屋の発想は大変よかった。まだ他の部屋に難点あり、吟味を。
- 18 1～9室まで良かった。良い作品が前半に集中せず、最後まで楽しく観ることが出来た。特に5室のレベルの高さには、驚きをもって観ました。
- 19 2室は色彩組み合わせ、個性を邪魔することなく展示できた。小品展示部所の大変さが分かる。
- 20 普通。

表彰

- 1 時間はスケジュール通りに進むように考えたかどうか。
- 2 時間がかかりすぎる。要領よく簡単に済ませられないか（同3名）
- 3 従来スポンサー賞を除き、賞状、賞金のワンセットであったが、42回展からは特選以下については、賞金を廃止し賞状のみにしたらどうか。経費の節約にもなる。外の会で上位賞も賞状だけの所もある。
- 4 中野、芳賀先生間の講評時間、内容の調整。
- 5 良好。
- 6 スライドを観ながら良かった。
- 7 来賓の方々の話は内容があり有意義だった。中野、芳賀両先生の話が重複していた。中野先生は絵、芳賀先生は工芸、とか分けられてはどうか。
- 8 プロジェクターは無くってはならないものになった。続けたい（同1名）
- 9 中野先生、芳賀先生の講評が良かった。
- 10 表彰式の手順を事前に調整しておくことが必要（理由）トロフィー授与に手間取った。
- 11 立派な審査の結果の表彰、お見事でした。
- 12 毎年同じ様な人が表彰されている。上位賞はよいが、下位賞は、特に佳作以下は少しでも新しい人を（同点であれば毎年出している人を優先）
- 13 高校生の作品に「佳作」は良かった。去年は「努力賞」でした。
- 14 両先生の講評が工芸作品へにも展開されて良かった。

懇親会

- 1 もっと懇親できるようにして欲しい。
- 2 良い。
- 3 会場入場業務は改善された。料理は増やせないか。
- 4 料理が無くなるのが早すぎる。種類を減らしても量を多くすることが出来ないか。（同6名）今後精養軒と対応考えたい。
- 5 相場なのでしょうか、内容に疑問。
- 6 地方の会員との交流、話しが出来て良かった。
- 7 二人制司会、「主」と「副」。次年度「副」が「主」を。新たに「副」を選出。
- 8 懇親会、受付等ほうまくいった。会費 8,000 円は若干高いような気がする。よその団体との平均値を！ 料理は少しあればよい。
- 9 受付はトラブルもなく、スムーズに行えた。土屋委員の「名札」のお蔭です。感謝します
- 10 代議士のパーティーみたいとの評があった（お金はとっても食べ物はなし、金集めパーティーと同じと）会場の変更も検討必要あり。都美館のレストランとか！。
- 11 他のレストラン・店に見積もりをとり考慮してみてはどうか。

搬出

- 1 問題なし。
- 2 搬出もあと 30 分延長を。
- 3 工芸部の搬出名簿がなかった。早田委員にご足労いただいた。

会場管理

- 1 良。
- 2 限られた人員を出来るだけ支障のないように配置に気を配った。事業部に敬意を表したい（役割分担についても同じ）
- 3 工芸室、菅野さんの展示に問題あり。
- 4 受付に委員もしくは会員1名配置必要ではないか。
- 5 各自の役割を果たしてうまくいったと思う。
- 6 入場者 6,000 とHPにあったが突数？
- 7 ミレーの会の方達が大変良くやってくれた様に思いました。ワークショップの件も宣伝してくれ感謝です。
- 8 受付、会場係当番名簿をポストカード系の所にも欲しい。
- 9 当番以外にも担当委員の方が頻繁に会場の様子を見て回っていたのは良い。
- 10 どの部屋にも新日美の当番員がいてよかった。
- 11 会場レイアウト図は分かり易かった。
- 12 小品の部の扉が閉まっていると当番をして良く分かるのですが、息苦しく座っていることが出来ません。吹き溜まりの様になっています。問題です。
- 13 急きょ当番が休みで、本部の対応がなく、あわてふためいていた、との事です。

ギャラリートーク

- 1 構図、配色等々基本的指導がやや多すぎでは？
- 2 作品の持つ良い点、悪い点を指摘、各個人の持つ特性を強く生かし、成長の方向にむけるべく指導を期待。
- 3 芳賀先生のギャラリートークも定着して、多くの参加者があり良い。(同1名)
- 4 全般的に好評。希望者だけでなく優秀作品の解説も必要ではないか。審査員クラスのメンバーによるギャラリートークも必要ではないか。
- 5 新人のためには良かった。
- 6 先生方の講評が明らかに違っている場合は、それなりの立場の方から指摘して欲しい。(銅版をトタン など)
- 7 各作品を丁寧に説明いただき参考になる。今回のように一般応募者が多かった時には声掛けをして、特に一般者向けのギャラリートーク等の企画があっても良いと思った
- 8 毎年続けるべき。現状で良い。(同2名)

工芸ワークショップ

- 1 良い(同3名)
- 2 今回は周知されてきた様で、予定参加者が大幅に増え、大盛況であった。毎年継続したい。ドライヤー使用には届出が必要とのこと。
- 3 考えられるすべての事前PRをしたが、相変わらず知らない人が多かった。
- 4 好評、継続して実施、事前準備必要。
- 5 担当者としては準備した人数分すべてを使い切り、盛況でほっとした。

- 6 好評でした。
- 7 机が長かったので声が届かず二手に分かれて作った。結果的に皆が出来上がって良かったと思う。机の用意等、時間的に早く準備する様に。
- 8 会への好感度が向上したと思う。次回も続けたい。
- 9 参加型の企画は盛り上がると思います。
- 10 良い試みであり、毎年続けて欲しい。
- 11 人が集まって良かったと思う。盛況のうちに終了し、良かった。

絵画 実演と講演

- 1 良い
- 2 今回初の試みであったが、大盛況であった。
- 3 考えられる全ての事前PRをしたが、相変わらず知らない人が多かった。
- 4 好評、継続実施
- 5 色彩の講演はとてもよかった。
- 6 会への好感度が向上したと思う。次回も続けたい。(同3名)
- 7 良い企画だと思う。実際の小作品や写真を見せながらの説明があると楽しくなると思う。来場者、一般応募者、会員等にも刺激になると思う。

写真・図録

- 1 良い
- 2 掲載ミスが2名あり、出来上がりも修正に日時を要してしまった。業者と改善できる方策をお願いしたい。
- 3 印刷屋のミスがあった。業者のみに任せていれば又起こりうる。点検の難しさはあるが、工夫できないか。(同2名)
- 4 図録が初日に間に合わなかったのが大変残念。
- 5 写真図録の残部数が多すぎる。もっと会期中に本人の手元に行くよう対応策が必要。(例、会員への会報等の中に会期中希望者は必ず事務所に寄る様に案内する)
- 6 手配のスピード素晴らしい。
- 6 写真の質を上げて欲しい、との声を多く聞く。
- 7 一般入選者の出品作品も図録に載ると励みになると思う。
- 8 素敵な出来栄えです。(同1名)
- 9 担当者のご努力に感謝いたします。
- 10 写真は現状のシステムでよい。図録は大変良い。現状の値段でやってほしい。
- 11 今年も掲載枚数の混乱があった。出来れば入選作品は全て掲載して欲しい。
2作品の方は2作品。
- 12 会期の終わり頃の当番だったが、同じ写真はがきが2名無くなり、後に補充した(欲しい方がガッカリしない様に早めの対応が必要)出品作品の写真が無いことも何人かに聞かれこれに対してもたとえ10枚づつでも全員写真を撮ったらどうか。
- 13 画集作成での画像入力ミスは再検討である(二度としてはならないミスである)

事務処理

- 1 良い
- 2 工芸の住所タグ作成ミスで住所と氏名がずれていた。そのため再送付となった。
- 3 担当者の苦労軽減の必要あり。
- 4 パソコンの出来る一部委員に負担が多かったと思う。
- 5 PC関係の担当委員をもう1人お願いしたい。事務室に毎日詰める必要があれば交代者を。
- 6 会計から希望：搬入時の受付票の撮影辞退者の名簿を作成して下さい。画集に掲載されているのに画集が出来上がってこない為、画集代を支払わないケースあり。
- 7 受付リスト始め各種リスト、通知などパソコン対応が早く、審査、集計、特に受賞者への通知などの作業が大幅に楽になった。
- 8 データの共有、統一、効率化
- 9 事務局長はじめ事務処理担当委員の努力に敬意を表します。感謝。
- 10 篠さんがいる事でスムーズに流れている感じ。
- 11 短期間に入力、集計があるだけに大変ご苦労だと思った。的確に実行されていました。
- 12 パソコンデータを確認していただけるルーティングがあれば良いかも。
- 13 すべて素晴らしかった。

その他

- 1 委員・審査員は出展者との対話を図るよう努める。
- 2 出品作品に審査員クラスの助言必要。
- 3 抽象絵画の研究必要あり。
- 4 学芸的雰囲気が強すぎる。{年一度のお祭り}位に考え、もっと面白い、若年層を惹きつける策はないものか。現状ではどこの展覧会ともさして変わらない。新日美の特性が見当たらず。
- 5 ミレーの会の方も慣れてきて、良い対応をしてくれた。
- 6 応募要項の校正を（ご承おき知下さい → ご承知おき下さい）
（出品全作品を掲載 → 実際は2点出品者は1点のみ）など。
ポストカード・支払方法・郵送の場合は・・・がよく分からない。
- 7 ポストカード係：二人一組での当番だがカード販売、会計を二人でしていたが、土屋さんの奥様と組んだ今年は一人が販売、一人が会計と分担して手際がよかった。
- 8 工芸授賞基準の解釈相違のため、過去に上位賞もらった人が今回下位賞を受賞した。
- 9 来場者の声として、今年は個性ある作品が多く、全体の内容も上がってきているとの声が多かった。
- 10 ①新日美展 作業手順書 ②会友と準会員の一本化
- 11 来場者持参の案内はがきを後日送って頂けるのは良い。
- 12 会友・準会員・会員発表一覧に該当者名のほか、地域を明記した方が良いのではないかと。
（理由）同一地域の人を探し易くなる。
- 13 会友・準会員・会員の推挙の流れを教えてください。
- 14 8~9室の充実を計りたい。特に小品の部（20号以下）の宣伝を。もっと点数増えてよい。
- 15 実行委員長の全期間を通してのご努力・頑張りに敬服いたしました。

アンケート集計結果の要約と検討課題

1 役割分担

- ・ 担当部署によって、本展へのかかわり方が異なるので、違う分だけ見方、感じ方が異なる。役割は長年同じ人でなく、新しい担当者に引き継ぐのがよい。
- ・ 本展運営には大勢の会員の協力が必要。今年は延べ人数 290 名の参加。

2 搬入

- ・ 出品者には記載漏れのないよう、完璧な出品票を提出してもらう。(受付時に確認)

3 審査

- ・ 審査員の交代はよい。
上位賞選考時に工芸と絵画を同テーブルで行った。一步前進。

4 展示

- ・ 二点出品者の作品展示方法を考える。
- ・ 各室の展示コンセプトを明確にすることは好評。
- ・ 三室の菅野さんの作品展示方法については問題。

5 表彰

- ・ 表彰式の時間が長すぎる。
- ・ プロジェクターはよい。続けたい。
- ・ 賞金のあり方を見直したい。
- ・ 芳賀先生と中野先生の講評内容がよかった。重複した点は来年からお互いに調整して。

6 懇親会

- ・ 費用が高い割に料理が少なすぎる。他のレストラン、店から見積もりをとり再検討が必要。
- ・ 二人制司会「主」と「副」。次年度「副」が「主」に。新たに「副」を選出。
- ・ 地方の会員との交流が出来てよかった。もっと懇親できるようにして欲しい。

7 搬出

- ・ 特に問題なし。
- ・ 工芸部の搬出名簿がなかった。絵画部と工芸部の統括機関はどこ？

8 会場管理

限られた人員で役割をこなしていた。

9 ギャラリートーク

- ・ 全般的に好評。毎年続けるべき。現状で良い。
- ・ 審査員クラスのギャラリートークも必要。
- ・ 新人のためには良かった。

10 工芸ワークショップ

- ・ 良かった。ドライヤーの扱いに要注意。今後も継続を。
- ・ 事前PRを事務局でしたにもかかわらず、知らない人が多かった。
- ・ 参加型の企画は盛り上がると思う。

11 絵画 実演と講演

- ・ 好評、継続実施を望む。
- ・ 会への好感度が向上したと思う。

12 写真・図録

- ・ 掲載ミスのため修正に期日を要した。(画像入力ミス)
- ・ 写真、印刷等、業者に任せていれば又起こりうる。解決策を。
- ・ 図録出版自体は大変よい。

13 事務処理

- ・ 担当者の(特にパソコン対応者)負担軽減のため、人員増強したい。
- ・ 役割に属さないフリーの篠さん存在が大きい。

14 その他

- ・ ミレーの会の担当者も慣れてきて、良い対応をしてくれた。
- ・ 審査員クラスの会員が出品作品にもっと助言をしたり、対話を図るよう努める。
- ・ 抽象絵画の研究必要あり。

